

**第 5 回長野市放課後子ども総合プラン事業の
運営体制の在り方検討小委員会
会議要旨**

日 時 令和 4 年 1 月 21 日(金) 午後 2 時 30 分から午後 3 時 15 分まで
 場 所 長野市役所第一庁舎 7 階 第一・第二委員会室
 出席委員 【プラン推進委員】石田委員、熊谷委員、中山委員、西澤委員
 【外部委員】小笠原委員、小林委員、高橋委員、塚田委員、水野委員、
 横地委員
 欠席委員 なし
 事務局出席者 日台こども未来部長、花立こども未来部次長兼こども政策課長、
 丸山こども未来部主幹兼こども政策課長補佐（社会福祉協議会駐在）、
 小田切こども未来部主幹兼こども政策課長補佐ほか
 傍 聴 者 2 人
 報道機関 2 社

発言者	内容
	1 開会
日台部長 中山委員長	2 挨拶
事務局	3 議事 (1) 長野市放課後子ども総合プラン事業の運営体制の在り方の最終報告について 資料 1 により説明 《質疑応答》
委員	最終報告書 21 ページの上から 4 行目「税制優遇措置は社会福祉法人に劣ります」とあるが、一般論としてはまさにそうだが、このプラン事業に関してはどちらにしても課税なので、優劣はあまりない。
事務局	税制優遇措置をここで比べてしまうとおかしい議論になるので、この部分は削除する。
委員	この事業は第二種社会福祉事業であり、社会福祉法人でなくてもできる事業である。この事業であえて社会福祉法人を設立するのはどうなのか。資料にもあるとおり、社会福祉法人を設立するためには次年度 1 か月以上の運転資金を確保する必要がある。このプラン事業だけでその資

	<p>金を確保できるのか。そこも十分に検討したほうが良い。</p> <p>また今後は、運営委員会の在り方や住民自治協議会との関係性が一つのハードルになってくると思う。</p>
委員	<p>エリアマネージャーは相当の役割になると考えられるが、どの位の人数になると想定しているのか。</p>
事務局	<p>エリアの分け方にもよるが、大きく分けると北部・中部・南部の3ブロック、もしくは、現在社協で用いている7ブロックが考えられる。7ブロックについては、以前からの流れで、まとまりやすい地域となっているようだ。そのエリアの中で、子どもたちをどういった形で支援していくか、どのように専門性を生かしていくかを考えなければいけない。様々な可能性があるなので、現場の意見も聞きながら詰めていきたい。</p>
委員	<p>今のイメージでいくと、一人のエリアマネージャーが100人単位またはそれ以上の支援員をまとめなければならないので、相当なマネジメント能力・組織管理能力が必要となる。</p>
事務局	<p>エリアマネージャーに関しては、あくまでもアイデアの一つである。まずはシンプルで効率的な組織にすべきではないかという意見をいただいたこともあり、本当に必要な役職かはよく検討する必要がある。一度作った役職を後で無くすというのは難しいのでは、とも感じている。</p>
委員長	<p>この委員会の役割は、細かな組織体制をどうするか、エリアマネージャーの役割はどうか、ということまで決める必要はない。今までの体制から少し変えていく必要があるという大きな方向性として、一般財団法人か社会福祉法人が候補に挙がった。全体的には、一般財団法人がかなり有力かと思うが、ここまで決めることでよいのであれば、もうこれで意見は出ないと思う。</p>
事務局	<p>いただいた議論の内容を踏まえて、今後は市が財源などを含めて現実的にどうやっていけばいいのかを庁内でも議論し、本会である推進委員会の意見も伺いながら進め、最終的には市で決定していきたい。</p>
	4 その他
	5 閉会